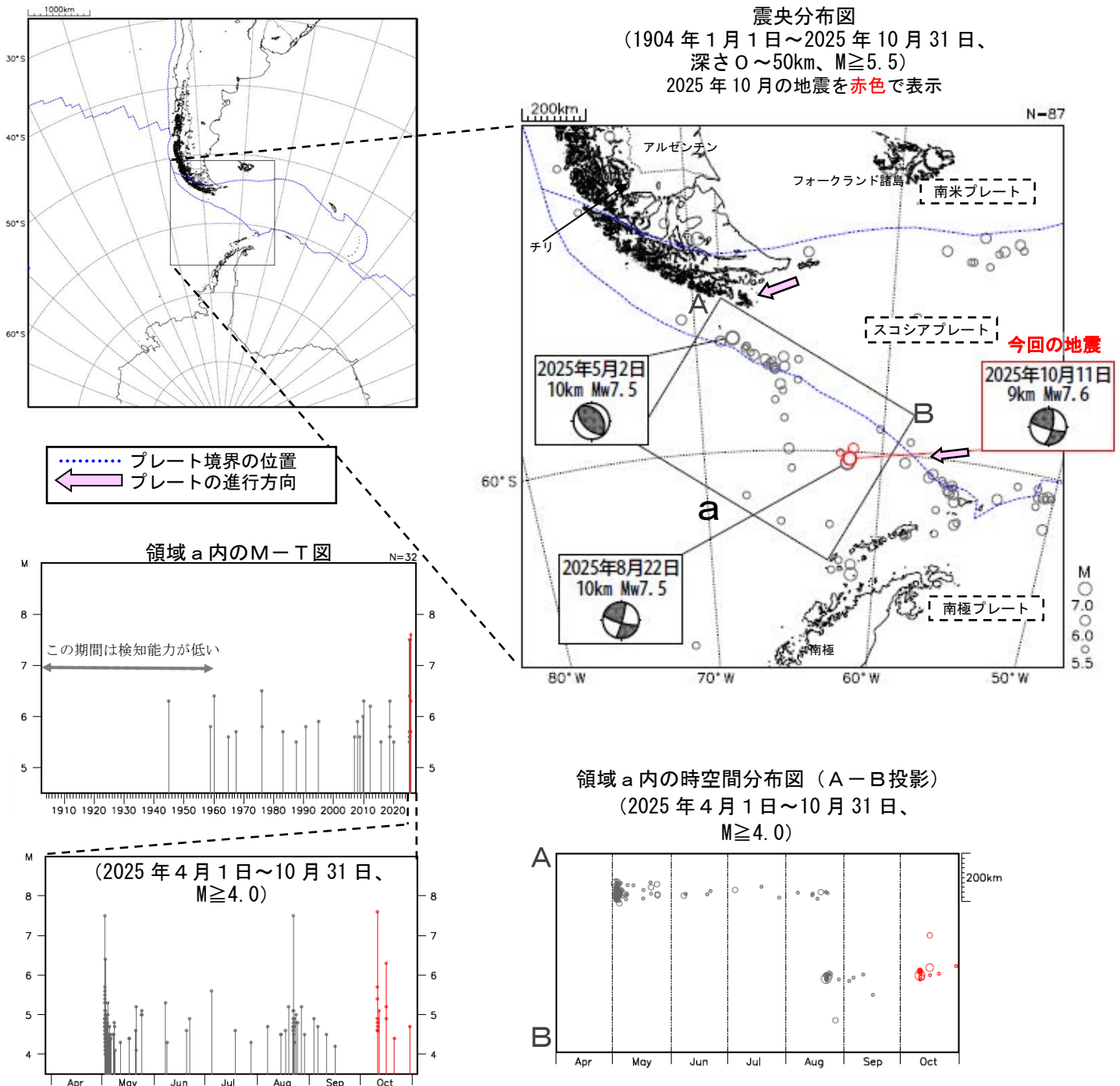


10月11日 ドレーク海峡の地震

2025年10月11日05時29分（日本時間、以下同じ）にドレーク海峡の深さ9kmでMw7.6の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は南極プレート内で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

2025年5月2日にはMw7.5の地震（Mwは気象庁による）の地震が発生した。また、2025年8月22日にはMw7.5の地震（Mwは気象庁による）の地震が発生した。

1904年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生しているが、M7.0以上の地震はほとんど発生していなかった。



※震源要素は、2021年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12(1904-2021)、2022年以降は米国地質調査所(USGS)による(2025年10月31日現在)。ただし、今回の地震、2025年5月2日及び8月22日の地震の発震機構及びMwは気象庁による。プレート境界の位置及び進行方向はBird(2003)*1より引用。

*1参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochimistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.